

夕刊 警城時報

行發日九十

編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
印刷部 警城時報社
電話 警城時報社
一、部金或銀 一ヶ月金廿五
廣告料 一行十四字五十五
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

團長は知事が任命

知事提唱の振興案に依り

平市青年團も陣容一新

君島知事提唱の青年振興運動に伴ふ平市及び石城郡青年團の改組協議会は既報の通り二十一日第一小學校で開かれたが、青年團として興亞の推進力となすべき今回の改組により、平市青年團でも二十八日開き、役員改選を行ふことになつた。

改組する改組方針を定め、修養、産業、拓殖、体育、訓練、文藝の各部を設置することとした。

委員長吹野、鈴木光吉、鈴木庄三、酒井清、吉田寅之助、青木庄三、鈴木重治、久太、委員佐藤幸太郎、多田井美次郎、松本徳一、鈴木庄三、吉田五平、遠谷藤太郎、小野園次郎、部長岡内。

先づ肥料の配給

市経更委員陣容成る

戦時下平市の経済建設を計るべく誕生した平市経済更生委員会の委員は既報の通り去る十六日任命、その所管事項も

▲経済更生部は産業経済更生計画、各部の連絡統制、其他各部に属せざる事項
▲生産計部は重要農産物生産増進の総合計画、地域別耕種改善
▲肥料配給部は肥料の配給統制、資材配給統制部は農林水産業の経営に必要な物資の配

給統制 ▲努力需給調整部は努力の需給調整 ▲労務需給調整部は努力の需給調整 ▲労務需給調整部は努力の需給調整

高女を卒業し就職の花の御匠で、インテリ女性が青春時代に、平市へ救済を求めて来た、数日前同窓会口へどうか助けて下さいと泣き込んだ女性を、係官が調べると北海道生れ石田フジ子(四二)で郷里の女学校を卒業して上京、浅草で就職、生花の師匠をしてゐたが昨年十一月知人の小石川區古川町喫茶店渡邊レイ子さんが手不足なので、この店を手傳つてゐるうち、大鯛の店を装つて同家へ出入する。谷區幡ヶ谷代々町詐欺師三谷の隣山プロカー荒木民蔵(六〇)と近づきになり、中年女の弱味につけ込まれ甘言に酔つてそのまゝ同棲してゐた。荒木は間もなく金が用だか

だもの判明、平市では直ちに前記兩名を捜査取調中だが、二次は去る十三日東京市本郷區駒込神明町の女、日東京市本郷區駒込神明町の女、日東京市本郷區駒込神明町の女、日東京市本郷區駒込神明町の女

四倉町の女子青年学校新校場で、去る十七日正午すぎから三時半頃まで、同町小學校校庭で、高三氏と共に本縣代表として出席することとなり十九日出発した。野崎氏は鮮満支各地を視察して來月二十五日頃歸平する。

中農現地講習 石城郡農會中農現地講習會現地講習は、農會中農現地講習會現地講習は、農會中農現地講習會現地講習は、農會中農現地講習會現地講習は

野崎氏寄付 平市會議長野崎氏は過般南町に邸宅を新築したがその新築祝を慶止し五十圓を軍事後援會へ寄付

高女出のテリ酌婦 鞍替話に平署へ泣込む

らと言葉巧みに女を欺き前借二百五十圓で小名濱町上町料理店福新方に酌婦に賣り飛ばして、了つた、フジはだまされたと知らず濱の男達を相手

全國自動車大會 野崎議長等出席

四倉登記所長 四倉滿洲國入り

祝 平商球選抜野球大會

村田書記榮轉 福島地裁平支部書記村田三朗氏は、この程若松に榮轉、十八日赴任した、村田書記の後任には平區の上野野登書記が任命された

田植のトツプ 川前二十三日に植付

平廣告研究会主催 「買物を聴く座談會」(七)

物品への希望は、郵便局長夫人木村ヨシ、金成藤川「品物に對する希望は御座りませんか」

野崎議長等出席 全國自動車大會

四倉登記所長 四倉滿洲國入り

祝 平商球選抜野球大會

村田書記榮轉 福島地裁平支部書記村田三朗氏は、この程若松に榮轉、十八日赴任した、村田書記の後任には平區の上野野登書記が任命された

「戦場での感慨」(二)

市内仲町熊謙次郎氏弟
太田四朗君陣中便り

私は、長くも天皇統率の日本帝國悠遠の光輝ある傳統の血潮を受け継いで立つた戦士達であり、平和の象徴である新緑の大自然の上に生を享くる者の最期の一死を軽くも超越して立つた生命の進軍であらば、いま至東亞を席捲して戦ふこれ等戦事従事者こそ、大和軍人精神の権化であると共に、考へやうに依つては一つとして宗教的ならざる無く、又救はるゝに宗教思想と日本精神の發揚と、大和魂の外に無かるべき事を、固く信じて疑はざる者でありました。宗教的戦事従事者のいはれは即ち天地創造の大神の御心に叶ふべき大平和を招来すべく立つた戦士の血の祈りであり、この爲に死を擧げて尚生くる永遠の靈の生活にあるのです。私は歳を重ねて尚絶ゆることを知らない戦争慘劇を目のあたりに致しながら未だ悠久の彼方に所謂エトピアなるもの、現出を夢見ること忘れ居なかつた、それは戦争のない世界である、この夢は或は見上の一笑に會ふかも知れない、然し世界の歴史は向後に展開する、幾萬幾億のそれに比して余りにも幼ない、私達はその一点にあつて目先きの事に血眼になつて興奮してゐるに過ぎないとも云ひ得やう私達一生五十年の活躍は宗教的悠遠運轉の一環を完成する爲の粹身にあらざれば實にあわれむべき存在であると云はん事も、あながち空論では無い様です、古今心的躬行人物は格別なれ共大さければ大きい程彼等の最後の如何に淋しく、味氣ないものであることを知るに於ても同論であることを見られるのであります。此處に私は戦事従事者の或る有意義を輝かしく實感し來つたものであります(つとく)

陶器の話

益田男家の名物志野茶碗の呼ばれ一萬五千圓はまた、値上する事だらうと専門家の悉く待望してゐることです、然しこんな名品も最初は安い値のものでした、それが趣味觀賞家の騷人雅客に嗜み漸々と立身出世して何萬金となつたのです、刀剣書畫流行の現下ですが、古陶器の躍進振舞にはかなひません、大家美術愛好家の賣立で最高値のものはほとんど古陶の茶器です、日本精神作興の折柄に支那や舶來古陶より和陶が尤も旺に使用愛撫されおること偶々ではありませんが、その内でも和陶第一の名品はやはり志野茶碗です。良品は何年経ても潤みと輝き光るものです、それ文に良品を手に入ること迄に至難事です、それが入手の晩は人生中の最愉快の感懐する事です、良品は家寶として後世に遺り傳はるものです。當品野は昔時より志野茶碗の本場です、和敬齋の國民精神運動の一助として玄々庵光陶が中古より一時絶へた陶技を興し、感激の裡に焼き上げた僅少の數々のうちより玄々庵著銘にて送料共三錢切手三十三枚の特價にて頒布する事になりました、數は限り申す事があります、申込所愛知縣瀬戸市外品野玄々庵光陶

出前迅速
御料理
むぎとろ
平市紅小路、電四八八

警防精神の皆様
警防分團旗 制定さる！
御下命は……弊店へ
今回内務省警保局に決定したる制定警防分團旗は時局柄標準價格決定致し減私奉公良品廉賣致候間御相談被下度候
◎圖案・色合見本有ります
京都西陣 山本旗工場代理店
平市田町銀座通
大塚運動具店
電話七十七番
各種運動具豊富に揃つて居ます

かまぼく製造
折詰生造
お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目
電話一四一番
配達人至急入用 年齢不問、住込の事

小児科科
レントゲン
四倉町(電話三〇番)
吉田醫院
醫學博士 吉田正
療診 午前九時より 午後五時迄

昔昔 その昔
加賀百萬石のお殿様が青田の稻を刈取らせにうづる月影を賞でたさうなこんな意味から名付けた新田町の「田毎」へ癒々ハコが入るやうになりました
ごうぞ御最願ひます
ご田 毎
平市 町三六
電話 二

公債・債券 質物一般
三井質店
平市四丁目 電話六〇六番
花柳病科 泌尿器科 皮膚科 門專
診療 午前八時より 午後九時まで (入院隨意)
江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町(電話六九一)

腸胃 性病
胃腸病科 花柳病科 性病科 泌尿器科 皮膚科 肛門病科
門專
院醫科 腸胃性病村松
(番七〇一電) 町南市平

御婚禮御着附
パーマメント ウエイト
和洋結髪 オゾン美顔術
御染髮洗毛 御爪術
水野化粧院
電話(六七八)營業所 (五二五)自宅

これは便利!
★手を荒さず ★絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず ★つけておくだけで洗へる。
美 マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一
漢方 生公華
貼薬 濕布で名薬
平市五丁目角 専賣店 山野邊藥局
薬價 二四五十錢 八四 四

平市田町(電話五二三番)
高久病院
院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科